

2. 堆積岩 P234～④ 答え

【堆積岩の種類】P234

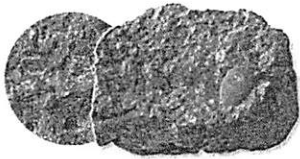
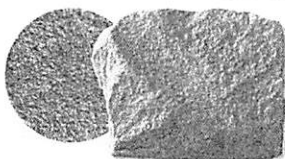
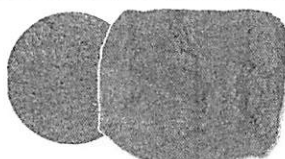
流れる水のはたらきで運搬されることで、れき、砂、泥は（ 分別 ）されて堆積する。堆積物の重みで押し固められ、長い年月をかけてかたい岩石になる。このように、堆積物が固まってできた岩石を（ 堆積岩 ）という。

☆ 次の文の①～⑥は下の表の①～⑥と同じ語句が入ります。表中のその他の語句は、P236で調べましょう。

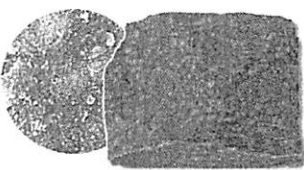
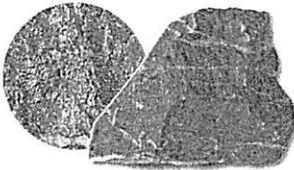
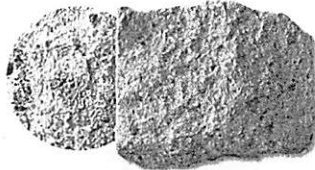
れき、砂、泥が押し固められたものは、それぞれ、（① れき岩 ）、（② 砂岩 ）、（③ 泥岩 ）という。

サンゴやプランクトンなどの生物の骨格や殻が集まったものは、（④ 石灰岩 ）や（⑤ チャート ）などの岩石になる。また、（ 火山灰 ）が集まったものは、（⑥ 凝灰岩 ）とよばれる岩石。

でい

堆積岩	① れき岩	② 砂 岩	③ 泥 岩
			
堆積する 主なもの	れき	砂	泥
	あらい ← 粒の大きさにで区別 → 細かい		
P236 特徴	流れる水のはたらきで、角がとれて（ まるみ ）を帯びた粒でできたものが多い。		

ぎょうかい

堆積岩	④ 石灰岩	⑤ チャート	⑥ 凝灰岩
			
堆積する 主なもの	炭酸カルシウムからなる殻や骨格をもつ水中の生物の死がい堆積してできる。	二酸化ケイ素からなる殻や骨格をもつ水中の生物の死がい堆積してできる。	マグマや火山灰が固まった岩石なので、角ばった（ 鉱物 ）の結晶からできている。
P236 特徴	（ 化石 ）をふくむことが多く、 <u>うすい塩酸をかけると</u> （ とけて ）気体が発生する。	鉄のハンマーでたたくと鉄がけずれて火花がでるほど（ かたく ）、 <u>うすい塩酸をかけても</u> （ とけない ）。	粒は角ばったものが多い

2. 堆積岩 P234～④

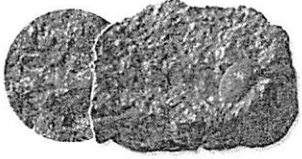
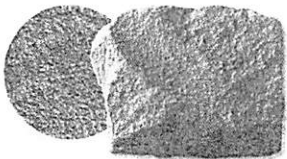
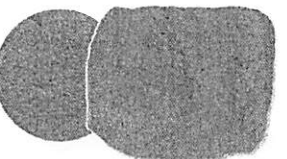
【堆積岩の種類】P234

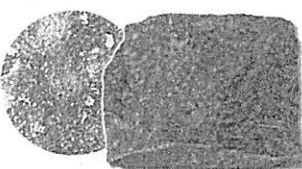
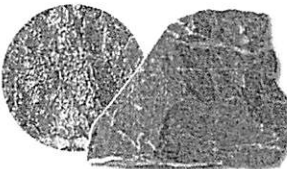
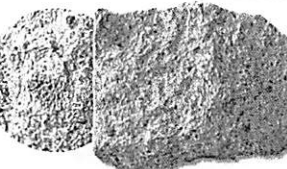
流れる水のはたらきで運搬されることで、れき、砂、泥は（分別）されて堆積する。堆積物の重みで押し固められ、長い年月をかけてかたい岩石になる。このように、堆積物が固まってできた岩石を（岩）という。

☆ 次の文の①～⑥は下の表の①～⑥と同じ語句が入ります。表中のその他の語句は、P236で調べましょう。

れき、砂、泥が押し固められたものは、それぞれ、（① 岩）、（② 岩）、（③ 岩）という。

サンゴやプランクトンなどの生物の骨格や殻が集まったものは、（④ 岩）や（⑤ ト）などの岩石になる。また、（火山灰）が集まったものは、（⑥ 岩）とよばれる岩石。

堆積岩	① (<u>岩</u>)	② (<u>岩</u>)	③ (<u>岩</u>)
			
堆積する 主なもの	れき	砂	泥
	あらい ← 粒の大きさにで区別 → 細かい		
P236 特徴	流れる水のはたらきで、角がとれて（<u>み</u>）を帯びた粒でできたものが多い。		

堆積岩	④ (<u>岩</u>)	⑤ (<u>ト</u>)	⑥ (<u>岩</u>)
			
堆積する 主なもの	炭酸カルシウムからなる殻や骨格をもつ水中の <u>生物の死</u> がいが堆積してできる。	二酸化ケイ素からなる殻や骨格をもつ水中の <u>生物の死</u> がいが堆積してできる。	マグマや火山灰が固まった岩石なので、角ばった（ <u>物</u> ）の結晶からできている。
P236 特徴	（ <u>石</u> ）をふくむことが多く、 <u>うすい塩酸</u> をかけると（ <u>溶けて</u> ）気体が発生する。	鉄のハンマーでたたくと鉄がけずれて火花がでるほど（ <u>い</u> ）、 <u>うすい塩酸</u> をかけても（ <u>溶けない</u> ）。	粒は角ばったものが多い

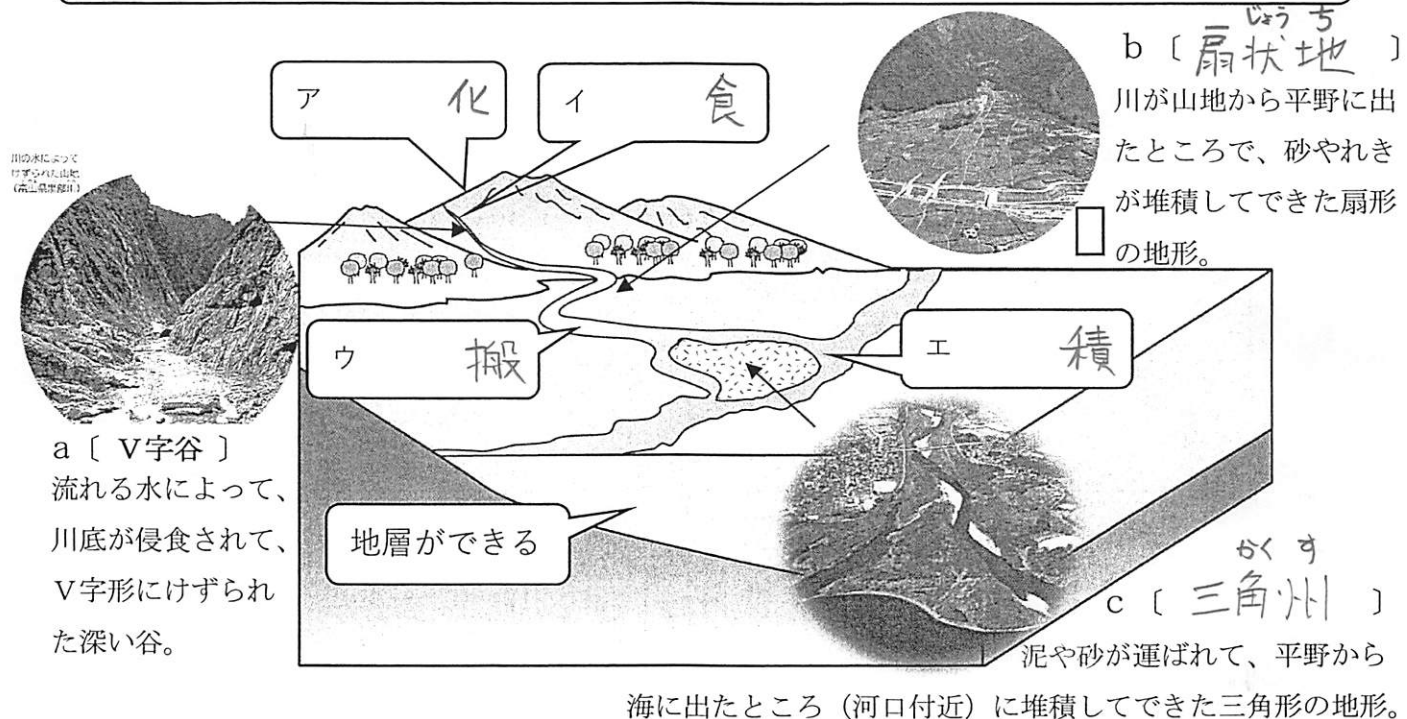
1. 地層の作り方 P231~

海や湖に運ばれた、れき、砂、泥や火山から噴出した（火山灰）などが水の底に（積み重なり）、（地層）がつけられている。

P232

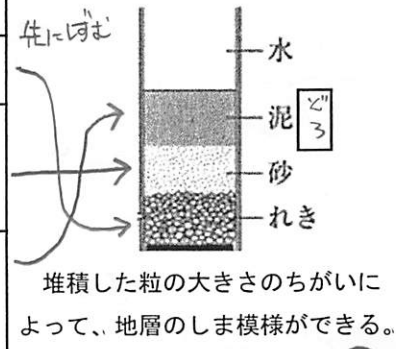
- (ア) 【化】…岩石が長い年月のうちに、気温の変化や（風雨）のはたらきによって（もろく）なること。
- (イ) 【食】…岩石がけずられること。
- (ウ) 【搬】…川などの（水の流れ）によって（下流）へと運ばれること。
- (エ) 【積】…運ばれたれきや砂や泥が、（平野）や（海岸）などの水の流れが（ゆるやか）になったところに（たまる）こと。

☆ 図のア～エには、上のア～エと同じ語句が入ります。便覧P86も参考にしましょう！



P233 表1

粒の呼び方	粒の大きさ	手ざわり
れき	() mm 以上	○○○○
砂	() mm ~ ($\frac{1}{16}$) (0.06) mm	○○○○
どろ泥	($\frac{1}{16}$) (0.06) mm 以下	○○○○



→ れき、砂、泥は、粒の大きさで分類されている。

【地層の作り方】 流れる水のはたらきで海や湖まで運ばれてきた土砂は、粒が（大きい）ものから海岸に（い）ところに堆積するので沖に向かって粒の大きさは（小さく）なる。

沖まで運ばれた土砂は、（大きな）粒から先にしずんで地層をつくる。

P233

1. 地層の作り方 P231～

海や湖に運ばれた、れき、砂、泥や火山から噴出した（ 火山灰 ）などが水の底に（ 積み重なり ）、（ 地層 ）がつけられている。

P232

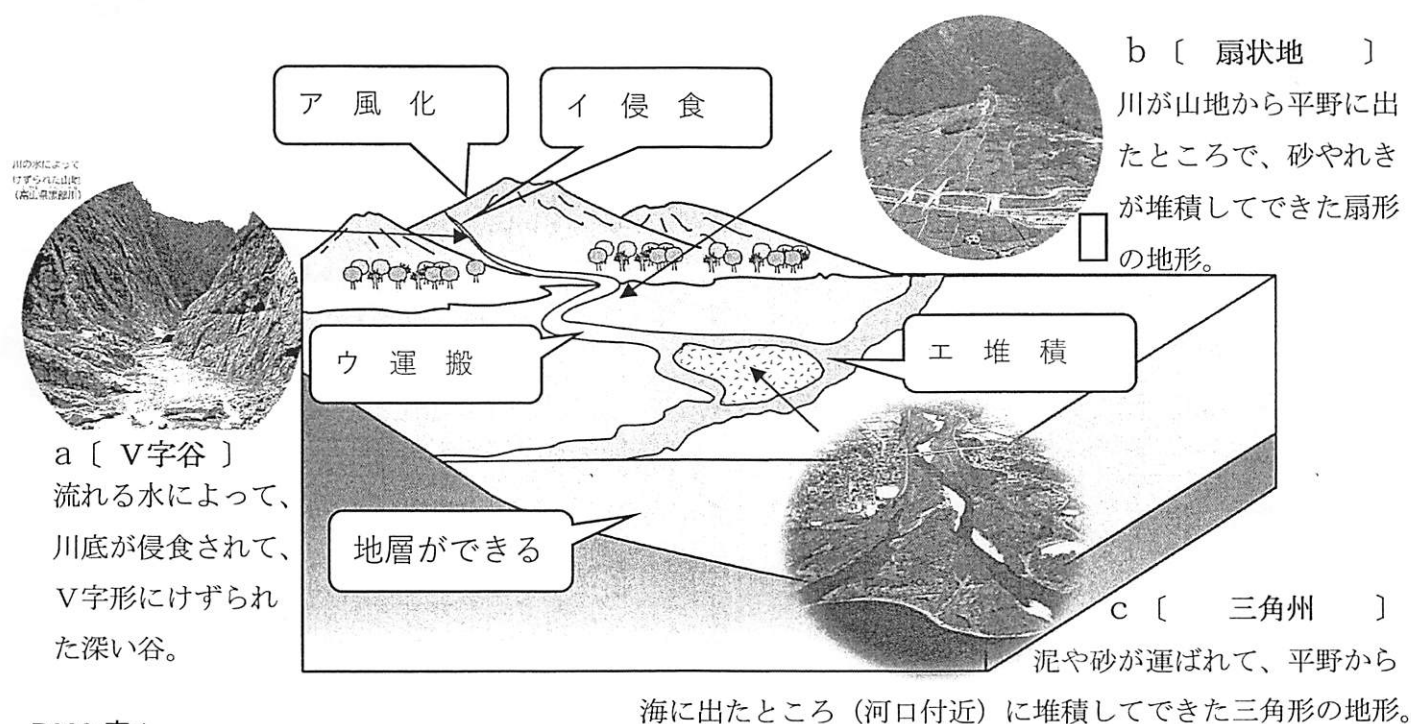
（ア）【 風化 】…岩石が長い年月のうちに、気温の変化や（ 風雨 ）のはたらきによって（ もろく ）なること。

（イ）【 侵食 】…岩石がけずられること。

（ウ）【 運搬 】…川などの（ 水の流れ ）によって（ 下流 ）へと運ばれること。

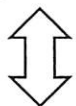
（エ）【 堆積 】…運ばれたれきや砂や泥が、（ 平野 ）や（ 海岸 ）などの水の流れが（ ゆるやか ）になったところに（ たまる ）こと。

☆ 図のア～エには、上のア～エと同じ語句が入ります。便覧P86も参考にしましょう！



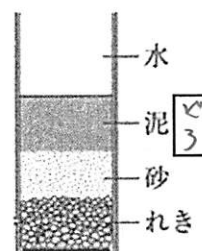
P233 表1

粒：大きい
先にしずむ
海岸に近い所



粒：小さい
後からしずむ
海岸から遠い所

粒の呼び方	粒の大きさ	手ざわり
れき	2 mm以上	ごつごつ
砂	2 mm～ 1/16 (約0.06) mm	ざらざら
どろ泥	1/16 (約0.06) mm以下	さらさら



堆積した粒の大きさのちがいで、地層のしま模様ができる。

→ れき、砂、泥は、粒の大きさで分類されている。

【地層の作り方】 流れる水のはたらきで海や湖まで運ばれてきた土砂は、粒が（ 大きい ）ものから海岸に（ 近い ）ところに堆積するので沖に向かって粒の大きさは（ 小さく ）なる。沖まで運ばれた土砂は、（ 大きな ）粒から先にしずんで地層をつくる。

P233